

大阪港地震・津波対策アクションプランの達成状況について

大阪港における災害の防災・減災対策を強化することを目的として、平成 18 年 6 月に『大阪港・地震津波対策検討委員会』を発足させ、被害想定や減災目標を踏まえ、具体的な取り組みを検討し、平成 20 年 4 月に津波災害に対する行動計画『大阪港・地震津波対策アクションプラン』を策定し、各機関において、アクションプランに取り組んできた。

計画の目標達成期間を、平成 20 年度から平成 29 年度までの 10 箇年と定め、達成度の評価や課題の検証を継続的に行うため『大阪港・地震津波対策連絡会議』を設置し、実効性の高い津波災害対策を検討してきた。

【達成状況】

- ・昨年度の地震津波対策連絡会議では、新たに『大阪港BCPの推進』を追加し、61 のアクション項目とし、同会議において 61 項目中、56 項目の達成を確認した。
- ・残る 5 項目のうち、昨年追加した、『大阪港BCPの推進』については、大阪港BCP協議会の設置や、訓練の開催など、アクション項目の方向性は定まっており、今後継続していくことで成果は見込めることから、達成の評価はできるものとする。
- ・一方、残る未達成項目について、各機関からのアンケート回答や小会議での意見を踏まえ、代替案等も含めた検討を進めた。《別紙参照》